

議事録要旨

会議名	平成 30 年度 第 5 回ブランド専門部会
開催日時	平成 30 年 9 月 13 日 (木) 19 : 00 ~
開催場所	あわら市役所 101 会議室
出席者 (敬称略)	<p>【部会員 (6 名)】 馬場区 / 五十嵐平、新富区 / 笹岡太久磨、あわら市議会事務局 / 松本智美 (主査)、あわら市金津図書館 / 見澤香織 (主査)、あわら市観光商工課 / 堀川由貴 (主事)、同農林水産課 / 中島綾一 (主事)</p> <p>【オブザーバー】 大広北陸 / 上野</p> <p>【事務局】 あわら市総務部政策課 / 藤田 (課長補佐)</p>
欠席者 (敬称略)	<p>【部会員 (4 名)】 中番区 / 奥中秀尚、十日区 / 伊藤佑樹、福井工業大学 / 下川勇 (教授)、あわら市総務課 / 西田浩也 (主査)</p>
協議事項	平成 30 年度事業の具体的な進め方について
会議内容 要旨	<p>●部会長 前回の議論で決められなかった部分を、今日は一つでも決定したい。よろしくお願ひします。</p> <p>●事務局 「ああ、あわら贅沢。」写真コンテストは、インスタグラムで募集するところから始めては？という意見が出ていたので、「ああ、あわら贅沢。」のインスタグラムアカウントを作った。現時点でフォロワーは 16 人。投稿は風景がメイン。SNS で目標にしたいと考えているのが、横浜市のインスタグラム。ハッシュタグをつけて投稿された写真の中から、いいものをピックアップして掲載しているようだ。おそらく投稿者に連絡を取っているのではないか。「ああ、あわら贅沢。ウェブサイト」(以下、贅沢サイト) にインスタの表示をさせると 2019 年 3 月までで 15 万円。横浜市はクリックするとインスタグラムに飛ぶようになっているので、同じようにしてもいいと思う。インスタで写真集めをしようと思えばできる。</p> <p>●部会員 贅沢サイトやあわら市のホームページにバナーを貼ってはどうか。</p> <p>●部会員 あわら市の観光協会では、ハッピーポイントという名称でインスタを使って投稿してもらう取り組みを始めている。あわら贅沢と重複するが、タグ付けすれば両方でいけるのではないか。</p>

議事録要旨

●部会員

ハッシュタグであわらしを検索すると色々出てくるので、知っている人は活用しているのでは。

●事務局

あわらしでインスタを検索すると7439件。食べ物が多い。写真コンテストはやろうと思えば進められる。進めていいか。

あわらし贅沢探し授業については、あわらし郷土歴史資料館学芸員が、希望のあった学校で、よく似た授業をすでに実施している。教育委員会からは、郷土愛を育む授業は大賛成だが、1回こっきりでなく、生徒が興味を持つ内容にして教育につなげて欲しいし、忙しい先生方の負担にならない形が望ましい。まず、政策課が校長会で説明し、校長に各学校へ持ち帰ってもらい、ぜひという先生がいれば、モデルケースとしてやってみてはどうかというご意見をいただいた。教職員は4月には異動があるので、できれば今年度中に一度実施し、その後、反省点を修正して継続していきたい。

●部会員

歴史は学芸員に監修してもらい、その他の伝統料理などについても、出前授業のようにパッケージ化して提案しないと学校もやりづらいのでは。

●部会員

先生を担当者として、一緒に作ったほうが協力してもらいやすい。こちらで作ったものを作ってもらうと、教育方針に合わないこともある。

●事務局

まずは、一人の先生と協議して、一緒に仕上げた内容を授業していただく。その授業について話しを聞いた他の先生たちは、「自分もやってみよう」という気持ちになるはずでと、教育委員会からは聞いています。

●部会員

学芸員も我々と同じベクトルで授業をしているのなら、一緒にやったほうがいいと思う。

●部会員

部会で担当者を決めて、協力していただくかどうかも含め、学芸員と話をしてはどうか。そのほかの事業について、前回、選択と集中という意見が出たが、予算の中でどう組み立てるか。発信についても同じくどうしていくか。

議事録要旨

●部会員

外向けの発信については、今年は準備ということでもいいのでは。写真コンテストやインスタを今年から前倒しでやって、今年の発信事業としては？

●部会員

外向けの広告は、やった感はあるが、勇み足になりそう。写真コンテストやインスタは、広告よりはいい。

●部会員

今は外より市民に発信したほうがいい時期。広報紙に贅沢コーナーを設けて、贅沢サイトのコンテンツを紹介したり、写真コンテストの募集をしたり、応募があった写真の一部を紹介したりしてはどうか。

●事務局

インスタと広報紙を合わせた情報発信は可能。
ブランド戦略会議のメンバーは数字で示してほしいと言っているが…。

●部会員

フォロワー数やハッシュタグの投稿数などの目標を決めてやらないと検証できない。KPIを作って「これを達成します」といったほうが理解を得られる。贅沢授業も今年からやるなら取材してもらえば発信につながられる。

●部会員

贅沢授業とインスタグラムは確定。後はどうするか。

●事務局

1 つに絞ろうという意見の中で、あわらむすび重点案が出たが…。

●部会員

ピンとこない人が多い。市民にもハテナ？が多いのでは。

●部会員

継続してやっていくのは賛成。やっていく中で跳ねることがあればそのタイミングで特化してもいいが、まだ芽が出ていないものに特化するのは得策ではない。

●部会員

予算の 3 分の 1 以上があわらむすびプロジェクト。予算の掛け方はどうか。

議事録要旨

- 事務局

ラジオ局と一緒にやっていたり、NPO 法人テーブル・フォー・ツーへの協賛金も今年は乗せたので、この予算になった。

- 部会員

(あわらむすびは期間限定で食べられない店が多いので) 恒常的に出せるようにして欲しい。

- 部会員

海苔が「ああ、あわら贅沢。」の「ああ、」の形になっていたらいいかも。

- 部会員

あわらむすびの語感はすごくいい。

- 部会員

店に作ってもらう手法がベストなのか。あわらむすびを使った別の手法がありそう。

- 部会員

「あわらむすび」という言葉は残し、商品化して駅前で販売する方が現実的では。

- 部会員

コンビニで販売するという話もあったが難しいのか。

- オブザーバー

コンビニとタイアップすると予算が足りない。ロット数も何千何万となるので厳しい。

- 部会員

スーパーと駅前に販売店をおいてもらうのは？

- 部会員

(地元業者と) 共同開発しては？

- 事務局

今年度の贅沢サイトはどうするか。今後予定しているコラムの本数を減らすことも考えている。来年度以降、贅沢サイトで何を発信するか。贅沢サイトの担当が必要なら決めたい。

議事録要旨

- 部会員

費用対効果を検証して続けるかどうか。記事の中身はしっかりしているが、どれだけの人に関心を示してもらっているかわからない。

- 部会員

編集委員会はどうするか。部会でやるか、プロ（大広）に入ってもらうか。

- オブザーバー

編集をどうまとめるかまだ見えていない。来年度も予算が確保されるなら今から編集委員会をつくって活動を始めてもいいが、予算がストップするなら委員会を作っても、その先まで展開できない。

- 部会員

編集委員会を決める前に、誰にどうなって欲しいかを明確にすべきでは。ペルソナ（具体的なターゲット像）を作って、その仮想人物にどうアプローチすると目的を達成できるか考えたほうがブレない。まずはどんなあわら市民に発信したいか。このペルソナづくりも宿題にしましょう。

今年、来年何をするか。私はいろいろやったほうがいいと思う。例えばあわらをキャンピングカーの聖地とするのも贅沢の要素があり、全国から愛好者を集められる。いろいろやるのか絞るのか。

- 事務局

今年の予算で言うと、ブランド専門部会事業か贅沢サイトのコラム作成予算を削れば捻出できる。贅沢授業については、今年は授業用動画制作までいかないと予想されるので、その分は削れる。写真コンテストは、インスタならお金はかからない。

- 部会員

写真コンテストの期間はどのぐらい？ 四季の写真を募集すると1年ぐらいかかる？

- 部会員

時期を区切ってやればいいのか？

- 部会員

そろそろ担当を決めましょうか。

(以下、担当決め)

議事録要旨

贅沢サイト／あわらむすびプロジェクト／編集委員会／贅沢授業／写真コンテスト

●事務局

今年度予算は、組み換えなくてもいいようなので、引き続き、山中さんに贅沢サイトのコラムをお願いしていいか。

●部会員

担当となった贅沢サイトについては、来年からどういった内容にするかも含めて考える。

●部会員

いま9月なので、写真コンテストを今年度中にやるなら、予算を決めないと。何月に何をやるか事業ごとに決めて次回持ってくるようにしては？

●事務局

では担当ごとの目標とペルソナを次回までの宿題に。

新しく参加してくれそうなメンバーは誰かいないか。編集が本格化すると、この人数では厳しい。

●部会員

あわら贅沢は市役所全体でやらないと広がらない。全庁体制で取り組んでもいいと思う。

●部会員

全庁体制もいいが、もっと市民にも入ってほしい。

●部会員

市民に入ってもらうなら、募集しては？ Facebookとか。

●部会員

不適切な人が来るリスクがあるので、難しいかも。

●部会長

本日もありがとうございました。おかげさまで面白くなってきた。やるなら自分たちが楽しいほうがいい。遊び心を含めてお知恵をいただいて楽しく盛り上げていければと思います。